

# ポロニア

ポロニアは黒花「桐」の学名です

第28号

2012-7  
平成24年  
7月

発行・岩手県高等学校PTA連合会（事務局）盛岡市上田三丁目2-1岩手県立盛岡第一高等学校内 TEL・FAX(019)625-6386 [E-mail] iwa\_koupren@ybb.ne.jp

24年度  
定期総会

## 連携密に諸活動推進

### 事業計画など7議案決定

松尾会長  
を再任

平成24年度定期総会並びに研究協議会は、6月6日午後0時30分から盛岡市のサンセール盛岡で開催されました。総会には、各校のPTA会長、副会長ら約250人が出席。平成24年度事業計画、同収支予算、同役員選出など7議案を審議、決定しました。会長には松尾正弘氏（盛岡第一高校PTA会長）を再選。総会では、第65回全国高等学校PTA連合会岩手大会開催への取り組みについての議案も承認され、今年度は準備委員会を発足させて開催準備を進めていくことになりました。

松尾会長は「本日は、たくさん

このように盛大に総会が開催されますこと、ほんとうにお礼申し上げます。総会の議事と研究協議、さらに講演、このあと教育懇談会と盛りだくさんの内容となっております。よろしくお願ひします」と挨拶しました。

このあと表彰に移り、松尾会長から個人表彰58人と第16回広報紙コンクール入賞校8校の代表者、それに23年度に募集した震災復興支援・心のケアに関するポスターおよび標語コンクール入賞者12人の代表者に表彰状が贈られました。



約250人が出席して開かれた定期総会並びに研究協議会



広報紙コンクール入賞校を代表して表彰状を受け取る大船渡高校

### 全国高P連岩手大会開催へ準備

定期総会で第65回全国高等学校PTA連合会岩手大会開催に向けての取り組みについての議案も承認されました。岩手開催は、今年

2月の全国高P連の総会で決定したもので、これにより開催に向けての取り組みを進めることになりました。

岩手大会は、平成27年8月19日から21日までの日程で滝沢村の産業文化センター・アピオをメイン会場に開催されます。全体会や7

分科会、記念講演などを予定。参加者は約1万人が見込まれています。

今年度は準備委員会を発足させ、日程や会場、大会テーマなど、開催に向けての具体的な準備に入ることになります。

来賓祝辞では、菅野洋樹県教育長、高橋和雄県高等学校長協会会長（盛岡第一高校校長）、鈴木寛隆県PTA連合会副会長（米沢慎悦会長代理）から祝辞をいただきました。

このあと、澤口修釜石高校PTA会長を議長に選出し議事に入りました。提案された議案は、平成24年度事業計画、同収支予算、同役員選出、平成27年度全国高等学校PTA連合会大会岩手大会開催に向けての取り組みなど7議案。事務局から提案理由が説明されたあと審議に入り、いずれも原案通り承認されました。

研究協議（行政説明）では、①被災地における通学に係る公共交通機関の状況について（県教育委員会事務局学校教育室主席指導主事兼高校改革特命課長・福士猛夫氏）②いわての復興教育の推進について（同学校教育室主任指導主事兼復興教育特命課長・松葉覚氏）説明が行われました。

山田高校の小田島哲男事務局長が、生徒の通学にかかる公共交通機関確保への取り組みなどについて説明。福士特命課長は、沿岸被災地の交通環境の改善について「学校の要望があれば、公共交通機関に働きかけていきたい」と述べました。

研究協議のあと、もりおか歴史文化館館長・榎バネット代表取締役社長の畑中美耶子さんから「方言は美しい」という演題で講演をいただきました。

平成24年度役員

会長	松尾 正弘(盛岡第二)	石川 栄幸(水沢商業)
副会長	松尾 榮一(雫石)	伊東 吉光(大東)
理事	和賀 匡彦(黒沢尻北)	黄川田純一(高田)
	尾形 秋芳(前沢)	山名 洋(宮古工業)
	及川 満伸(高田)	外谷 隆司(久慈)
	高屋敷久人(久慈東)	大巻 一人(沼宮内)
	福田 國幸(紫波総合)	安藤 浩己(盛岡南)
	鎌田 達也(盛岡市立)	岩船 伸介(宮古商業)
	作山 光子(盛岡第四)	工藤 重信(前会長)
	近藤 奈美(盛岡商業)	熊谷 隆司(元会長)
	佐藤 道輝(花巻農業)	高橋 和雄(校長協会長)
	菊池 敦子(遠野緑峰)	高橋 秀幸
顧問		
監事		

平成24年度表彰受賞者

◆個人表彰	盛岡第一 副会長 藤村 三良	黒沢尻北 副会長 及川 均
	盛岡第二 会長 下河原大希	西和賀 会長 松本 敏光
	盛岡南 会長 北條 京	遠野緑峰 会長 大里 政純
	杜陵 会長 佐藤 貴史	水沢 副会長 菊池 チカ
	事務局 局長 佐藤 正治	水沢農業 副会長 千葉 敏郎
	(奥州校) 会長 小野 智哉	水沢商業 副会長 川邊 慎二
	盛岡工業 副会長 吉田 節男	茨城県時崎 会長 後藤富士子
	盛岡商業 副会長 山本 義幸	前沢 副会長 石川 聡
	盛岡商業 会長 豊岡 卓司	金ヶ崎 副会長 佐藤 明
	平館 会長 藤川 洋	一関第一 副会長 勝浦 伸行
	雫石 副会長 阿部 悦子	一関第二 副会長 伊藤 晋
	紫波総合 副会長 佐藤由美子	一関工業 副会長 金沢 純一
	盛岡市立 副会長 大江 恵美	花巻 副会長 川崎 順子
	盛岡北 副会長 小瀬川弘樹	花巻工業 副会長 菊池 文彦
	花巻農業 副会長 福盛田満広	大東 事務局長 足利 勉
	花巻農業 副会長 八重樫晴彦	千厩 副会長 千葉 喜章
	花巻農業 副会長 高橋 俊行	千厩 副会長 熊谷 正文
	花巻農業 副会長 鎌田 裕輝	高田 副会長 須賀 深雪
		葛巻 副会長 村中千鶴子
		沼宮内 副会長 滝川 伸也
		一戸 副会長 西野 和幸
		福岡工業 副会長 東山 道晴
		福岡浄法寺 副会長 安ヶ平 薫
		福岡 副会長 小南館清孝
		伊保内 副会長 古館 克志
		久慈 副会長 小野寺健二
		宮古商業 副会長 藤岡 昭司
		宮古工業 副会長 阿部 剛夫
		宮古北 副会長 澤口 義明
		山田 副会長 盛合 光徳
		釜石商工 副会長 栗澤 幸男
		住田 副会長 菊池 陽一
		大船渡東 副会長 田村 拓弥
		大船渡 副会長 劉谷 忠

広報紙コンクールで 大船渡高校が優秀賞

平成23年度県高P連広報紙コンクールで優秀賞に大船渡高校、優良賞に盛岡第一、水沢工業、盛岡第三、花巻南、水沢商業、久慈、盛岡となん支援の7校が入賞、6月6日の定期総会で表彰されました。

また、平成23年度東北地区高P連広報紙コンクールで水沢工業が最優秀賞、大船渡高校が優秀賞、盛岡第一高校が優良賞をそれぞれ受賞しました。

おらほのPTA

地域に密着して 多彩な活動展開

岩手県立雫石高等学校 PTA会長 松尾 榮一



研修旅行 東北学院大学礼拝堂にて

本校は「スキーといで湯の里雫石町」にある、岩手山を眺める丘の上に建つ町内唯一の高校です。全校生徒148名の小規模校ですが、逆に小人数ならではの行き届いた学習指導と、個別指導を特徴としています。

校訓の「点滴穿石」をもとに、各人が継続したたゆまぬ努力によって目標を達成するよう、日々先生方と一緒に勉学にスポーツに励んでいます。

本校のPTA活動は4月の総会から始まり、5月の環境美化活動では生徒たちと一緒に学校内外の清掃や花植えを行います。6月には挨拶運動(登校指導)や、大学・企業訪問と会員相互の親睦を兼ねた研修旅行が行われます。夏休みには地区ごとに親子で道路清掃や竜川清掃に汗を流し、10月には思郷祭(文化祭)に参加しPTA作品展示とお休み処の運営を行います。

また、生徒数確保を目的として町内唯一の中学校との親睦交流会も催されています。

PTA活動のメイン行事は1月の雪上運動会における餅つきと豚汁の振る舞いです。競技には父兄と先生方の連合チームもエントリーし、生徒たちと白熱した戦いを繰り広げます。母親委員をリーダーとするPTA会員は前日から豚汁の仕込みを始め、競技の合間に生徒たちがついた餅とともに、大会後に一堂に会して雪上でこれを食べます。

私たちがこのように多彩な活動を行えるのも、ひとえに会員の皆様や地域の方々の協力があるからだと思います。高校再編の心配もありますが、これからも地域に密着したPTA活動を進めていきます。



**請求なければ支払いなし**

**(社) 全高P連賠償責任補償制度**  
PTA(学校)単位で加入する制度で制度発足以来11年目となりました。

〈加入状況〉  

全国	1,786校	1,046,204人
岩手県	68校	30,609人

〈事故の際は〉  
全高P連賠償責任補償制度事故受付電話 0120-119-110

**県高P連高校生総合保障制度**

〈加入状況〉  

Aプラン(病氣補償あり)	62校	1,763人
Bプラン(病氣補償なし)	60校	750人
Cプラン(自転車重点型)	62校	1,641人

〈事故件数〉23.4.1~24.3.31 (給付件数)  

学生総合(医療)	男子140	女子56	合計196件
自転車総合(医療)	男子37	女子23	合計60件
賠償責任(対人・対物)	男子33	女子10	計43件
育英費用	男子4	女子4	計8件

〈引受保険会社〉  
●AIU保険会社盛岡支店  
TEL 019(653)1411 FAX 019(623)3541



三浦愛美さんのポスター [SMILE]

振り向く希望は前にある  
藤原幸乃さんの標語「振り向く希望は前にある」

**復興支援・心のケア  
ポスター・標語入賞者**

平成23年度震災復興支援・心のケアに関するポスターおよび標語コンクールの入賞者が決まり、6月6日の定期総会で表彰されました。

**ポスター**

- ◆優秀賞
  - ▽釜石高等学校 三浦 愛美
  - 「SMILE」(平成24年度採用)
  - ▽盛岡第一高等学校 八重樫真結
  - 「明るい未来が待っている」(平成25年度採用)
  - ▽久慈高等学校 小室 好
  - 「希望の花を咲かせよう 幸せの花を咲かせよう」(平成26年度採用)

**標語**

- ◆優良賞
  - ▽盛岡第一高等学校 水野祐之介
  - ▽黒沢尻北高等学校 高橋 春佳
  - ▽久慈高等学校 雷 史緒未
- ◆優秀賞
  - ▽大槌高等学校 藤原 幸乃
  - 「振り向く希望は前にある」(平成24年度採用)
  - ▽盛岡第二高等学校 浅里 美結
  - 「ココロとココロの輪で、輝く未来への一歩。」(平成25年度採用)
  - ▽盛岡第一高等学校 小岩 千夏
  - 「海と空 2つの青は 希望の色」(平成26年度採用)

**がんばろう岩手 第3回**



大船渡東高等学校 PTA会長 新沼 英明

「がんばろう岩手」ということで、景気の良い話があればと思いますが、現実には運々として進まない復興状況を見るにつけ、将来に不安をもっている方々が多いのではないかと思います。復興には、10年20年いやそれ以上の年月がかかるのではないのでしょうか。街は人口減少と高齢化が一気に進み、存続も危ぶまれる事態になるのかもしれない。そんな近未来に立ち向かい、明日の岩手をつくっていくのが、今の高校生たちではないかと思えます。震災以降多くの生徒たちから「ふるさとのために」という言葉を耳にします。被災にあつて最悪の条件の中で、勉強シクラブ活動に汗を流し、ボランティア活動に頑張っている子供たちをみて頼もしく感じています。がんばろうと言われなくても必死で頑張っている子供たちの志を大切に、支援していくことがPTAの役割ではないかと思えます。



平成24年度PTA総会

**おらほのPTA**

**地域で愛される  
高校を目指して**

岩手県立岩谷堂高等学校 PTA会長 菊池 亮



本校は、従来の「普通科・商業科」から、平成六年に全国初の「総合学科高校」として生まれ変わりました。また、平成二一年には、岩谷堂農林高校と統合し、「新生・岩谷堂高校」として新しくスタートしました。現在は奥州市江刺区内唯一の高校として、「地域に根ざした学校」を目標に、学校とPTAが協力し頑張っています。

PTA活動は、広報、研修、健全育成、母親の4専門委員会が中心となり、積極的な活動を行っています。どの委員会も、中心にいるのは「子どもたち」ということを念頭に活動しています。広報委員会は、会報のPTA通信発行により、子どもたちの様子や保護者への情報を、毎回来しい紙面で提供しています。

朝の一声運動は、健全育成委員会が担当し、生徒会と一緒に校舎までの坂(愛称「根岸の坂」)で、「おはようございます」とあいさつを交わす中に子どもたちとのふれあいを感じています。秋には岩高祭(文化祭)が開催され、生徒による工夫を凝らした発表と模擬店が開かれ、地区の方々、家族の方々が多数来校されます。その中で母親委員会では、伝統のスープギョウザを提供して絶大な好評を博しています。(県P会員の皆様、是非一度食べに来てください。)

研修委員会では、PTA会員の相互理解と親睦を図るべく、研修旅行を実施しています。こうした活動を通して、新校舎と共に生徒・先生・保護者が協力し、地域に愛される高校でありたいと願っています。



PTA研修 柴田亜衣さんの講習会

### おらほの PTA

## 一丸となり復興 目指した活動を

岩手県立高田高等学校 PTA会長 及川

満伸



昨年3月11日の東日本大震災により、本校の多くの生徒やPTA会員の尊い命が奪われました。また、校舎も甚大な被害を受けたため、大船渡東高校萱中校舎を仮校舎として学校生活が再開され、2年目に入りました。この震災により、全国高P連をはじめ、県内外のPTAから多くの温かいご支援をいただきましたことにあらためて感謝を申し上げます。

さて、昨年のPTA活動は、多くのPTA会員が被災していることや、校舎の地理的条件もあり、校舎に集まって情報の交換や親睦を深める機会を設けることができず、以前のような活動を行うことはできませんでした。

そんな中、PTA研修として、11月にアテネ五輪競泳女子800m金メダリストの柴田亜衣さんをお招きしての講演会を開催し、大変貴重な時間を過ごすことができました。また、PTA広報は12月と3月にそれぞれ発行し、特にも3月の広報では震災で変化したことについて、多くの会員の声を聞くためにアンケート調査を実施してその内容を掲載するなど、広く会員への情報提供を行うことができました。

今後しばらくは、大船渡の地で高田高校の伝統をつなぐことになりませんが、PTA会員、同窓生や市民が期待している陸前高田市への高田高校再建が、一日も早く実現されることを願いながら、PTA一丸となって復興をめざした活動に取り組みしていきたいと思っております。

### おらほの PTA

## 保護者も一緒に 楽しめる企画を

岩手県立一戸高等学校 PTA会長 野里

信友



本校は昨年度、創立百周年を迎えました。校訓「明朗・誠実・進取」のもと総合学科制の特性を生かしたキャリア教育を重視し、推進している学校です。総合学科開科を機につくられた本校独自の創作ダンス「華」は年を追うごとに成長・開花し、全国の舞台も経験できました。また「クラス対抗華一発表会」も今年で9回目。御所野縄文公園での発表は地域の方々や保護者の皆さんに支えられ、生徒たちが若いエネルギーを爆発させて楽しい行事として成長し続けています。

さてPTA活動は、今年度も会員の皆様のご協力で大いに盛り上がりつつあります。6月に行われた春の登校時一声運動は、1年次の保護者を中心に協力者が急増し、3日間で延べ89名(昨年60名)の参加となりました。生徒の登校の様子を見たり、さわやかなあいさつを交わし、子供たちのいい笑顔に出会うことができました。

6月末のスポーツ大会では昨年度から母親委員会の方々によります「ドリンクコーナー」の設置。汗いっぱいの子供たちにお茶やスポーツ飲料の提供を行いました。毎年、秋の「桜陵祭」では「PTA展」(バルーンアート)の他、母親委員会による「体験試食コーナー」(親父の会による「牛もも肉の丸焼きコーナー」と「餅つき」)を行っています。数年前から「PTA」を「ばつ」と楽しく遊ばせよう」と話し、保護者自身が楽しめるような企画、運営をして学校を盛り上げていきたいと頑張っています。



### 編集後記

「雨ニモ負ケズ」で有名な岩手が生んだ詩人で、童話作家の宮沢賢治が1932年に発表した童話「グスコイブドリの伝記」がアニメ映画化され、今夏、一般公開されました。主人公の少年ブドリが「誰かのために何かをしてあげたい」と願い、強く生きてゆく姿に感銘を受けた。環境問題や家族の大切さなどを考えさせられる素敵な作品ではないかと思えます。▼賢治の作品には「自然」や「命」「愛」「農業」「科学」「哲学」といったキーワードが随所にちりばめられているものが多く、分かりづらい部分もあるわけですが、それをアニメ化することで、いわゆる「ファンタジー」として描かれている点が素晴らしいです。私が花農OBだからといって、決して賢治作品をべた褒めしているわけではありませんので、悪しからず▼ファンタジー映画に限らずいろいろな映画を見て、勇気づけられること、元気づけられること、少なからず得られる熱いエネルギーがあると感じています。みなさんでそのようなエネルギーを寄せ集めて、岩手の復興のために役立つ知恵や行動力に変換することができれば、きっと新しい未来を築いていけるのではないのでしょうか。ぜひ、PTA活動の活性化にもつなげていきたいと思っております。(調査広報副委員長 佐藤道輝)

◆(編集委員) 調査広報委員会  
委員長 和賀 匡彦(黒沢尻北)  
副委員長 佐藤 道輝(花巻農業)  
委員 田中 真理(盛岡第二)  
紺野 啓(水沢農業)  
新沼 英明(大船渡東)

### (事務局)

- 高橋 利幸(黒沢尻北)
- 高橋 秀幸(黒高P連)
- 木村 智子(黒高P連)